

地域外視察研修(美作市)

10月23日(日)、草間地域づくり推進委員会(田井義明会長)の総務部会(橋本敏夫部長)は、地域住民他29名の参加のもと、美作市上山の「特定非営利活動法人 英田上山棚田団」の活動を視察しました。一時は、地区の90%以上の棚田が放棄され草木に覆われていたが、都市と農村の住民が協力して、2010年から8300枚の棚田を再生させています。当初10数名から始まった活動は、多くの支援を受け、活動規模が大きくなり、2011年にNPO法人化し、現在に至っています。この間には、移住者も23世帯41人になり、また農作業体験などへの参加者も1500人(27年)と増加しています。

こうした地域の自然や文化等を資源として活用するエコツーリズムは、草間地域にも共通するものがあり、今後の活動に参考になるものと期待されます。



草間台ふれあい広場(お知らせ)

今年度は3年ぶりに「草間台ふれあい広場」を開催します。当日のプログラムは次のとおりですので、お知らせ致します。多数の参加をお待ちしております。

- 開会行事 9:00~
- 演目
- 9:15~ 大正琴 (カルストなでこの会)
 - 9:45~ 三光神楽 「酒造り」「大蛇退治」「大国主命の舞」
 - 10:40~ 講演 (岡山県警「撃退電話広め隊」) 「特殊詐欺・悪質商法を防ごう」
- 閉会行事 11:45~

南部3公民館交流GG大会

10月12日(水)、足見南部グラウンドにおいて、草間公民館と豊永公民館、井倉公民館合同で「南部3公民館交流GG大会」を開催しました。当日は、50名の参加があり、グループ毎に声を掛け合いながら楽しくプレーされました。

※成績は次の通りです。(2R)

- 【優勝】藤原健雄(草間公民館) 36打
- 【準優勝】西本 勇(井倉公民館) 38打
- 【3位】野手征士(草間公民館) 39打
- ④横田秀明(草間) ⑤中山義昭(草間)
- ⑥藤野 進(草間) ⑦杉 學(草間)
- ⑧小川晴夫(草間) ⑨寄本百合子(豊永)
- ⑩佐倉節雄(井倉)
- 【ホールインワン賞】
- ・藤原健雄(草間)
- ・杉 學(草間)
- ・小川晴夫(草間)
- ・藤波英子(草間)
- ・吉川岩夫(草間)
- 【ホールインワン賞15歳以下】
- ・西本 勇(井倉)
- ・檀本祥子(草間)
- ・横田秀明(草間)



草間台GG愛好会9月大会

10月20日(木)、土橋交流センターグラウンドにおいて、31名の参加で行われました。※成績は次の通りです。(3R)

- 【男子の部】
- ①中山義昭 53打 ②藤野英弘 ③杉 基
- ④西川正美 ⑤二摩泰男
- 【女子の部】
- ①藤井シゲノ67打 ②吉川岸恵 ③藤井清子
- ④山口波子 ⑤笹田富子
- 【ホールインワン賞】
- ・藤井清子 ・坂本軍治 ・藤野英弘
- ・杉 基2本 ・藤野浩吉
- 【ホールインワン賞15歳以下】
- ・中山義昭2本 ・村田利夫 ・西川正美
- ・長田桂治 ・杉 基 ・二摩泰男

湯川診療所からのお知らせ

診療所ではインフルエンザの予防接種を実施しています。実施期間は、令和5年1月31日までです。ご希望の方は、お電話か診療所窓口にてご予約をお願い致します。

湯川診療所 TEL 74-13180

【電灯が登場したころ】

探検ロマン草間台遺産No.139

新見市で最初に発電所が設置されたのは、明治45年、龍頭の地だそうです。また昭和3年の電力供給は、中国合同久田発電所と吹屋・東城・金附発電所から計300キロワット、このうち動力使用電力は80キロワットで、大部分は灯用だったそうです。草間地内に最初に電灯が取り付けられたのはいつ何処だったかは書いてありませんが、草間地内での電灯取付数は、大正12年に526個、昭和元年には750個だったそうです。「以上新見市史」

家に電球が1個しかないのは普通で、長いコードを付けて持ち廻って使っていた時代があり、昭和20年〜30年代のころは、電力不足などによる停電がよくありました。また電球のフィラメントもよく切れて困っていました。蛍光灯の発売が日本で始まったのは、1941年(昭和16年)です。



天井からぶらさがっている裸電球

川柳 題「助」「代」



ありがとう助言でわかる良し悪し
今時代ついて行けない曾孫に負け
ウクライナ助けてやれぬもどかしさ
子の多忙代わってやれぬもどかしさ
中村すみえ

何時の間に妻の手足となり動く
サイタサイタ僕ら世代の一年生
笹田 彰

どこまでも坂補助輪がはずせない
代わり番こに御神輿をかつぐ秋や良し
田井芳枝

プーチンさん戦いよりも助け合い
代々の祖先が守る山や畑
高畑文子

補助輪がとれてペダルは軽やかに
食事代財布持たずにスマホでピツ
西本八寿江

求む助っ人農家は人手不足です
三世代揃って参ったお彼岸
才田茂美

短歌



生まれ出るせつなの蟬をおそふ蜘蛛
あはれと見つめるわれも生き物
滑 都

一匹は淋しかろうと祭りの日
金魚を買ひて池に放つ夫
西山富美子

投網持ち高梁川の瀬に立ちて
鮎の気配を探っておりぬ
杉 秀樹

白寿きてリハビリ出来るすばらしと
医者に言われて元氣倍増
長岡愛子

台風を物ともせず鈴なりの
柿頼もしく秋空に映ゆ
中村すみえ

俳句



萩咲くや母の単衣の萩模様
初秋や余生見つめし葉数

長田保子
橋本八重子